

2023年12月19日

日本臨床腫瘍学会

会員各位

公益社団法人日本臨床腫瘍学会
保険委員会委員長 滝口 裕一
副委員長 沖田 南都子

ダカルバジン注用 100 の供給不安による治療への影響に対する対応について

抗悪性腫瘍薬「ダカルバジン注用 100」は、悪性黒色腫、ホジキンリンパ腫、褐色細胞腫の治療において不可欠な薬剤ですが、製造販売会社であるサンド株式会社より、試験逸脱に対する安全性確認のために12月から出荷停止を行い、次の出荷である1月下旬までの間、市場欠品が予想されることが発表されました。

当該適応症疾患の治療において、本剤が使用できなくなることは、医療上の必要性、患者様の予後から考えると危機的な状況であり、会員各位ご所属の医療機関においても治療上困窮されると推察し、当学会として下記のことを会員各位に勧告いたしますので、ご対応くださるようお願い申し上げます。

- **一時的な転院治療の対応**: 所属施設の院内在庫と予定している治療計画に鑑み、新たな治療を受け入れ可能な施設にて、患者様を受け入れる。
- **治療計画の調整**: 治療レジメンの開始時期を可能な範囲で再検討し、出荷再開後に治療することができないか、検討を行う。

欠品期間としては年末年始を挟む1ヶ月程度であり、この間の治療が途切れないよう、本学会会員各位間で治療計画と院内の在庫情報を共有し、この難局を乗り越えるべくご協力を仰ぎたく、お願い申し上げます。

以上